

令和5年度 国富町立本庄小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営ビジョン (たくましく生きる本庄小の子ども) 知・徳・体ともに調和のとれた実践力のある児童の育成 (コンプライアンス意識の徹底) 児童・保護者・地域に信頼される学校づくり

学校の教育目標: 豊かな心を持ち、たくましく生きる本庄小の子どもの育成 『チーム本庄(T・A・G)』

※自己評価は職員・保護者・児童の評価 ●は課題・次年度への方策等

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	手段	結果の考察・分析および改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	■目標 学力向上と読書活動の推進(考える子) ■手段・ゴールイメージ 1 基本的な学習習慣の指導と主題研究と関連させた日々の授業改善による学力向上 2 各種関係機関と連携した特別支援体制の充実 3 授業との関連、読書環境の整備及び読み聞かせボランティアと連携した読書活動の推進	1	○A Iドリルの導入により一人一台のタブレットで復習ができた。自分の苦手とする学習内容を選び解算することで個別最適な学習が実践できている。 ○相互参観授業期間の設定や中部教育事務所のブラッシュアップサポートを年3回受けて授業改善に取り組んだ(若手職員)。	3.1	3.4	○タブレットを使用した発表では、児童が自信をもって発言していた。 ○授業に対する児童の評価が高く満足している状況がある。 ●今後も児童の発達段階に配慮して、タブレットの活用、相互参観授業による授業改善を図ってほしい。アナログな教育も徹底してほしい。 ○各学級で配慮が必要な児童に対して、教師の積極的な言葉かけ、支援員の協力が実践されていた。学校の対応が手厚い。 ●家庭学習の内容検討を含め、家庭でのバランスのよい時間の使い方を保護者との連携で進めてもらいたい。 ○読書への意欲が昨年度より高まっている。 ○読み聞かせボランティアの活動やビブリオバトル等の企画の継続を期待している。児童と本との出会いがよい経験になる。
		2	○学校での学習や生活への困り感をもつ児童への関わりを積極的に行い、保護者との相談の上、支援の在り方を関係職員で協議・推進できた。			
		3	○読み聞かせボランティアによる全学年での読み聞かせを実施していただいた。 ○校内放送による図書室利用の状況お知らせと児童によるビブリオバトルで読書への意欲を喚起した。 ●学級での貸出数の差がある。(1月現在:貸出100冊以上48名)			
徳育	■目標 思いやりの心と基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成(親切な子) ■手段・ゴールイメージ 1 主題研究と関連させた道徳授業改善 2 地域・家庭と連携した規範意識の醸成及び人権教育の推進(あいさつ、返事、履き物の整頓、マナー) 3 定期的な児童アンケート及び教育相談の実施と各種関係機関と連携した教育相談体制の充実(せんだん会議、いじめ防止方針の徹底、家庭・地域との連携)	1	○低学年も校内での会釈がよくできていた。 ●友達を思いやる言葉遣いや瞬に応じた言葉遣いはまだ十分ではない。	3.3	3.0	○校内を歩いているとあいさつをする児童が多く、ゴミも落ちていない。地域でも進んであいさつをする児童が増えた。 ○小学校のときにしっかりした人格形成を図ってもらいたい。 ●場面ごとの指導を大切にもらい、次年度からのスクールワイドPBSの取組に期待している。 ○自主的な清掃等のボランティア活動もぜひ本庄小学校の伝統にしていただきたい。活動を支える教師の努力がうかがえる。 ○低学年の児童も落ち着いて生活できている。 ○いじめ問題に対する学校の組織的対応を保護者にも理解してもらえるように、懇話会やPTA総会等でも説明することも重要だと考える。 ○関係機関との連携を継続して図っていただきたい。 ●いじめとふざげやいじりとの境目の見極めが難しいと感じる。アンケートに書けない児童もいるだろうから職員の日々の観察が重要になる。
		2	○9月9日の参観日において全校一斉の道徳授業を実施した。 ○早めに登校した上学年児童が自主的に校庭の清掃を始め、2学期の最終日まで継続して行った。			
		3	○毎月「心のアンケート」・担任との教育相談を全児童が行い、早期発見に努めた。 ○いじめ不登校対策委員会で、各学級の児童の様子を共有した。必要に応じてケース会議を設け、組織的対応の方針を協議した。			
体育	■目標 体力・健康つくりの実践と食育及び安全教育の推進(がんばる子) ■手段・ゴールイメージ 1 体力向上プランの年間指導計画への位置付けと振り返り(PDCA) 2 保護者と連携した、保健指導及び食に関する指導の推進 3 危機管理マニュアルの確実な周知と安全指導・安全点検の徹底	1	○昨年度よりも体力テストの測定結果が改善した。 ○全国平均を下回った項目を全職員で認識し、体育授業での取組例を示し、全学年で2学期後半から取り組んでいる。	3.4	3.1	○夏は熱中症対策のため外で遊ぶ機会が減ってしまっている。体育の授業で具体的に体を動かすことに取り組んでいるので体力テストの向上が見られる。 ○体力向上への取組を保護者にもアピールして、家庭で過ごす時間にも運動に取り組んでもらえるように情報発信を続けてほしい。 ○地域からの支援で食育の充実が図られていることはありがたい。 ●健診後の受診率が上がるように、健康の重要性について、学校・家庭・地域で支えていくことを期待する。 ○災害等が起きたときに、引き渡し訓練は児童の安全確保のために重要になるので、今年度の引き渡し訓練を継続して実践してほしい。 ○いざというときに「訓練でやっていけなかった」となることを期待している。
		2	○栄養教諭・町役場・地域の方の指導・支援により全学年が食育の取組を実践できた。 ●健診後の受診勧告を定期的に行い、長期休業における治療を保護者に依頼している。(歯科治療率40.3%)			
		3	○昨年度の引き渡し訓練の反省を基に大幅な見直しを行い実践できた。今後も保護者との連携を図る。 ○毎月の安全点検を実施し、危険箇所について随時修繕している。			

次年度の方向性についての校長所見

○中部教育事務所や国富町教育委員会の指導、職員による校外・オンラインによる研修成果を全職員で共通理解し授業改善を継続する。
 ○スクールワイドPBSを実践し、校内における言語環境を整え安心安全な学校を目指す。
 ○運動の日常化につながる体育学習を実践し、保護者とともに健康な生活に向けた取組を実践する。
 ○社会構造の変化に応じた学校行事や教育活動を模索し、さまざまな場でのICTの活用を推進する。

